

第2回亀有地域観光拠点施設地域検討会

次第

令和4年10月27日（木）午後6時30分
亀有地区センター ホール

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

(1) 前回の振り返り

【資料1】第1回地域検討会の振り返りについて

(2) 設計の進捗について

【資料2】前回のご意見を踏まえた設計の進捗について

【参考資料】現状の設計図面

(3) 地域連携・地域回遊について

【資料3】地域連携・地域回遊事例紹介

4 今後の予定

第3回亀有地域観光拠点施設地域検討会

日時：令和4年12月下旬（予定） 時間：午後6時30分～

会場：亀有地区センター

1. 第1回地域検討会の振り返りについて



第1回地域検討会では、主に5つのテーマに関するご意見をいただきました。

- ① 展示について
- ② まちへの回遊
- ③ まちとの連携
- ④ 運営について
- ⑤ その他

「①展示について」に関するご意見と方針案

こち亀や亀有らしい誰もが楽しめる展示

- ここにしかない、ワクワクするような施設としていただきたい。
- 老若男女楽しめるような施設としていただきたい。
- 両さんが考えるような、突拍子もないような施設としてほしい。
- VRなど、秋本先生のアイデアを生かした展示をしてほしい。
- 漫画だけでなく、アニメや音声を使っても良いのでは。

ご意見

- 展示だけではない体験型の施設としてほしい。

- 定期的な更新を行うなど、何度 も来たくなるような施設としてほしい。

方針案

体験性の高い展示

- ・インタラクティブな展示。
- ・見るだけでないゲーム性のある展示。
- ・五感で楽しむ展示。

更新性の高い展示

- ・デジタルコンテンツを活用した映像展示
- ・定期的な入れ替えが可能な展示

皆さまに頂いたご意見＋集英社様ご意見を踏まえて、設計内容に反映

「②まちへの回遊」に関するご意見と方針案

ご意見

- この施設を拠点として地域全体を回遊できるような方法を考える必要がある。
- この施設だけでなく、北口を含め、亀有全体を回れるようにしてほしい。
- 両津の行先を告げるヒントを出して、各商店へ誘導する。

方針案

地域全体を回遊できる
「仕組み」づくり

施設・展示を活かした具体的な回遊策を、今後も地域検討会にて検討

「③まちとの連携」に関するご意見と方針案

ご意見

- 関係機関として出来ることを検討し、**対外的なPRなど、協力**していきたい。
- 初めて亀有に来る方も大勢いると思うので、**駅から施設まで、できればキャラクターを活用したサイン**があると良い。
- 亀有警察署にも協力いただくと良いのでは。
- 施設前の混雑が予想されることから、横断歩道を設置するよう警察と協議しても良いのでは。

- **地域が応援していることを最初からアピール**していきたい
- この施設をハブとして地域を活性化していくため、**地元が後押し**しなければならない。

- **グッズ**についてはどう考えているのか。
⇒（事務局回答）
今後、地域の皆様と意見交換しながら検討していきたい。今も商店街グッズを販売しているが、そのグッズとバッティングしないような、施設ならではのグッズを考えていきたい。
- 各アニメ、ゲーム、漫画等の舞台への訪問（聖地巡礼）の場合、広範囲に限定の土産が販売されている事例が散見される。**記念館だけではなく、商店会が柔軟にグッズ作成ができる仕組みがある**とコラボし易いのではないかとと思う。

方針案

地域との連携構築

地域理解の醸成

地域との連携による
お土産開発や
販売のしくみづくり

施設・展示を活かした具体的な連携策を、今後も地域検討会にて検討

「④運営について」に関するご意見と方針案

ご意見

方針案

- 駐車場や観光バスの乗り降りについてはどう考えているのか。

⇒ (事務局回答)

具体的な検討はこれからだが、近隣施設にご協力いただければと考えている。



利用者アクセスの向上

- 来館者への多言語対応が必要ではないか。

⇒ (事務局回答)

具体的な検討はこれからだが、最近はスマートフォンなど、自分が使いやすいツールを使う傾向があることを考慮する。



案内や展示における
インバウンド対策

- 館内にエレベーターが一基しかない点は、バリアフリーの観点から、階段等に昇降機を設置する予定はあるのか。



バリアフリー対応



今後検討を進める運営計画に反映

「⑤その他」のご意見

ご意見【回答済み】

- この検討会はどうやって公告するのか。

⇒（事務局回答）区ホームページにて公表し、傍聴希望の方については、事前に連絡いただく形で考えている。

- 地下は作らないのか。

⇒（事務局回答）水位が高い場所であることから、地下を避けた。

- 来館者の見学時間や収容人数はどれくらいか。

⇒（事務局回答）具体的な検討はこれからだが、見学時間については、現状、40分～1 時間程度と想定している。

3. 地域連携・地域回遊事例紹介



まちなかに拡張するマンガの世界観

商店街や商工会が協働し、希望する店舗などに、アニメに登場する戦車パネルを設置。まちなかに戦車が走るといふアニメの世界観を、実際のまちに拡張している。パネルの設置場所の案内図も制作した。アニメのファンが回遊に訪れる。
(実施場所：茨城県大洗町)



地元の声を集めたリアルな情報発信／来訪者同士の情報交換



観光ガイドマップに掲載されない地元目線の情報を発信しているマップ型デジタルサイネージシステム。地域のまちづくり協議会や商店街と連携し、まちあるきのコンテンツを作成して、発信している。地域の人にインタビューして掘り出した、地元のおすすめ情報も発信している。

QRコードをかざすことで旅行者の旅の思い出をシェアする機能もある。

(設置場所：プリンススマートイン京都三条など)

夜も巡る楽しさをつくる



鳥取県境港市の「水木しげるロード」の、夜間ライトアップ。妖怪たちの影絵の照明が道路に投影される。カラフルな照明で妖怪が照らし出されたり、不気味な音やメロディーが聞こえきたりと、まるで屋外お化け屋敷の様な怖さを体験できる。季節によって異なる演出を見ることがもできる。

また、夜の雰囲気を活かして、商店街の有志で、営業時間を延長して土曜夜市を復活する取り組みが行われた。

(実施場所：鳥取県境港市)

「偶然の出会い」が生まれる、まちなかのガチャガチャ

豊島区内各所にカプセルトイマシンを設置するアートプロジェクト。まちで見られる建築のドアノブレプリカや、町のエスニック食材店の食材がモチーフのキーホルダー、まちのお祭りを紹介するシールなどが入っている。併せて歴史紹介や地図、食材レシピなども別紙に記載されている。ふだん触れ合うことのない場所や人と出会うこと、さらには、地域の歴史や物語などを偶然、発見することを目指した取り組み。企画実施にあたって、地元の立教大学の学生が、祭りなど、地域のリサーチに参加した。（実施場所：豊島区）



どこかのドアノブ

どこの屏？マップ付き

- ①自由学園明日館のドアノブ
- ②池袋モンパルナス・アトリエ付住居のドアノブ
- ③立教大学メーザーライブラリーのドアノブ
- ④鈴木信太郎記念館のドアノブ



4種類

食材キーホルダー

エスニック食材店で購入できる食材キーホルダー レシピ付き!?

- ①中華食材店で購入したフナのキーホルダー
- ②バングラデシュ食材店で購入したトウガンのキーホルダー
- ③ミャンマー食材店で購入したキャンドルナッツのキーホルダー



3種類

お祭りキラキラシール
—コロナ禍中止編—

3枚セット(ランダム)

コロナ禍で惜しくも中止となった8つのお祭りがキラキラシールに!

- 東京大塚阿波おどり
- すがも中山道菊まつり
- 雑司が谷鬼子母神御会式大祭
- ふくろ祭り/東京よさこい
- 長崎神社例大祭
- 子育て地蔵まつり
- 雑司が谷大鳥神社例大祭
- ふるさと千川どんと焼き



シークレット

何がでるかはお楽しみ。とっておきの体験ができるレアカプセル!



ポイント②

地域の歴史や物語などまちのあれこれを発見する
伝統的なお祭りや、どこかのドアノブの建物に関する歴史や地図、食材レシピを別紙に掲載。また、意外な場所に現れる15のマシーンを巡る楽しみもあります。カプセルトイを通じてまちを発見しよう!

まち歩きアプリの活用

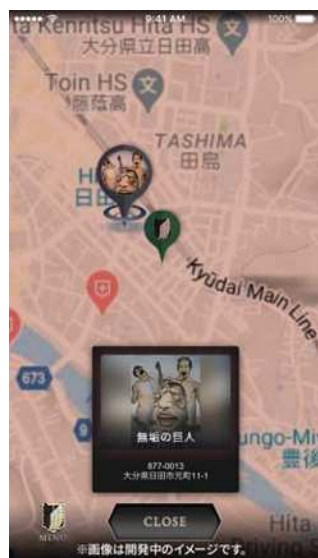
まんが「進撃の巨人」の世界観を取り入れた、「スタンプラリー機能」、「GPS型アトラクションスマホゲーム」、「AR体験」などを備えた回遊を促すアプリ。（実施場所：大分県日田市）

●スタンプラリー機能



所定の店や施設で、『マスクケース』や『ポストカード』など、**ここだけでしか手に入らない限定ノベルティやサービスが受けられる。**

●GPS型アトラクションゲーム



GPSを頼りに日田市内の巨人出現スポットを巡る。
到着すると、現実とコミックがリンクしたような画面に。討伐ターゲットを定めて巨人をタップすると、戦闘ゲームが始まる。
巨人を討伐してポイントを稼ぎ、ランクアップを目指す。

●AR体験



日田市内の特定の場所に行くと、アプリを通して、実際の景色の上に、巨人やキャラクターのARが現れる。**記念に、色々な場所の写真を撮って集めて楽しむ。**